

# 卒業生が語る 教員の「魅力」や「やりがい」

1967年設立当時から教員を輩出してきた四天王寺大学では、現在も多くの卒業生が様々な場所で教員として活躍されています。今回は、教員として活躍中の本学卒業生にご協力をいただき、「教員として働くことの魅力ややりがい」を語っていただきました。

## 子どもたちの「できた!」を引き出せる喜び

「たくさんほめること」をモットーに授業に取り組んでいます。一人ひとりの子どもに合わせて考えた自立活動を通して、子どもたちが「できた!」と喜ぶ姿は、私の元氣とパワーの源です。四天王寺大学で、2年生の頃から毎週欠かさず参加していたインターンシップの経験は、今の教育現場に大いに役立っています。学生の時から何度も教育現場で「継続的」な関わりを学ぶことができたことが、教員として働く上で大きな自信となりました。

大阪府小学校教諭  
教育学部 教育学科  
小学校教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
太田 光咲さん

様々な知識や経験がこれから出会う子どもたちの糧となります



## 対話を通して 子どもの変化に気付く先生に

教員は、子どもたちに向けて精一杯頑張った分だけ、子どもたちの学びや成長に繋がる素敵な仕事です。子どもたちが「わかった!」と喜んでいる姿を見たり、「来年も先生のクラスがいい!」と言ってくれたりする度に、私自身も「頑張った良かったな」とやりがいや嬉しさを感じることができます。私は、子どもたちと接する際は「対話」を大切にしています。「対話」を通して子どもたちと信頼関係をつくることはもちろん、小さな表情の変化にも直ぐに気付けるよう心がけています。私が働いている学校では、現在3名の四天王寺大学卒業生が勤務しており、縦横の繋がりで気軽に相談できる方が身近にいることが、心の支えとなっています。

一生懸命になれることを見つけ、自分の気持ちがブレないようにがんばろう!

堺市小学校教諭  
教育学部 教育学科  
小学校教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
合田 真希さん



自身が選んだ未来に自信を持って日々挑戦!

## 楽しさは、子どもたちと一緒に授業を作ること

「子どもたちの苦手意識を解消したい」という思いから教員をめざし、「一緒に授業を作る」ということを心がけて指導に励んでいます。今では、一人ひとりの子どもの顔や表情を見ることで、「問題が解けていない」「話が入っていない」など、それぞれが抱える悩みや不安に気付けるようになりました。学生時代にインターンシップを経験したおかげで、初年度から教育現場で自立して行動することができ、「心の余裕」を持って子ども達と接することができています。

大阪市小学校教諭  
教育学部 教育学科  
英語教育・小学校コース<sup>※1</sup> 卒業  
時宗 修一さん



子どもと一緒に悩んで、一緒に成長していく気持ちが大切です



## 大学時代に育んだ“観る力”は宝物

全学年が10人以下という単学級のため、若手から学年主任に近い役割を任せられるなど、様々なことが経験できる教育現場で働いています。ふとした瞬間に子どもが心を開いてくれたり、昨日できなかったことが今日できるようになる姿を見ることに喜びを感じ、その積み重ねが教員をやっていてよかったと思える理由につながっています。また、大学時代に授業等を通して、早期より学校現場で様々な先生の学級運営を観ることができました。この「観る力」を培った経験が、今の授業づくりに活かされています。

奈良県小学校教諭  
教育学部 教育学科  
小学校教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
新谷 愛さん

## 有言実行を心がけ、 子どもの信頼に応える

私は、和歌山県の小学校で5年生の担任を任されています。学校行事の担当も行って、子どもたちが「楽しかったな」と喜んでくれる姿を見て、教員をやっていてよかったと日々感じています。また、教員の仕事の中では、子どもと約束したことを必ずやり遂げる「有言実行」を大切にしています。約束したことを一緒にやり遂げることで、それが子どもたちから信頼されるようになります。また、子どもたちもわたし自身も楽しい思い出を増やすことができていると思っています。学生時代に、教職教育推進センターの先生方が面接練習を熱心に見てくれたり、教員としての力をしっかりつけてくれたりしたからこそ、私は今教員として働くことができていますと実感しています。

毎日の仕事が好きで、1日があっという間に過ぎていきます

和歌山県小学校教諭  
教育学部 教育学科  
小学校教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
丹田 翔梧さん



## 数学の感動を伝え、生徒に寄り添う

現在、中学校で数学を教えています。中学校教諭として、「生徒の気持ちに共感すること」を大切にしています。生徒と接する上で、生徒が「嫌だ」と思っていることがあるなら、まずはその気持ちを受け止めてあげたいと考えています。私の教員としての原動力は「数学が好き」という情熱です。数学を「嫌い」な生徒に対しても、「このままではもったいない! こんなに面白いのに!」という思いが強くなります。日常生活に役立つ数学の知識など、身近なところから数学の面白さに気づいてもらえるような授業を目指しています。

教員をめざすための「揺るぎない軸」を持つことを大切に!

大阪府中学校(数学)教諭  
教育学部 教育学科  
小学校教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
竹林 壮馬さん



## 人生の岐路に寄り添える喜びと使命

高校教諭は、生徒の夢を後押しすることができる魅力的な仕事です。一緒に進路について考え、夢を叶えた生徒の喜びや、叶わずとも再起する生徒の力強さに立ち会えることは、高校教諭ならではの感動です。また、高校教諭として、生徒にとって良い授業づくりができていくかを大切にしています。夢中になって授業を受けてくれた時は、心の中でガッツポーズをしています。反対に、生徒の反応が薄い時は、次こそは良い授業ができるようにと日々模索しています。その他、教員のやりがいは、生徒と向き合えば向き合うほど、反応が返ってくるころです。勉強が苦手な生徒に分かりやすく教えたり、部活動を頑張る生徒へ指導したりと、力を入れた分、生徒が心から感謝を伝えてくれます。

学生時代に諦めず努力したことが、今の楽しい未来に繋がっています

大阪府高等学校(国語)教諭  
人文社会学部 日本学科<sup>※3</sup> 卒業  
小島 佳太さん



## コミュニケーションを通して、 生徒の想いを引き出す

学校現場では、よりよい人間関係を築くため、積極的にコミュニケーションを取りに行くことに注力しています。日々の声掛けやあいさつが関係性向上につながり、生徒の内面にある想いを引き出すことができたときは、とてもうれしい気分になります。四天王寺大学では、4年間を通して、教科の指導力向上や採用試験対策などについての手厚い支援が受けられました。現在、四天王寺大学を卒業した先輩が同じ職場で働いており、実際の教育現場でも頼れる先輩がいることを実感し、四天王寺大学を選んで本当によかったと、卒業後も改めて感じています。

みなさんが夢を叶え、共に働くことを楽しみに待っています

大阪府高等学校(地理歴史)教諭  
人文社会学部 社会学科<sup>※2</sup> 卒業  
松岡 晃佑さん



4年間頑張った経験と気持ちは必ず役に立ちます!

## 四天王寺大学で学んできた 4年間は、私の宝物です

子どもたちが毎日成長する姿を近くで感じられることが、養護教諭の魅力です。子ども達ができたことを報告しにきてくれる時のあの笑顔を見るたびに、心がほっこりと温まり、教員をやっていて良かったと感じます。四天王寺大学で、学校現場に長期間携わることができた経験は、私の宝物です。インターンシップやボランティア等を通して、実習期間のみではみられない先生方の細かな仕事内容についてや、子どもたちと時間をかけてできた信頼関係があるからこそできる指導を学ぶことができました。これらの経験が教員採用試験の時や、教育現場に出た時に、私の大きな強みになっています。

大阪市養護教諭  
教育学部 教育学科  
保健教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
森田 遥香さん



四天王寺大学は、一緒に頑張る仲間たちや、応援してくれる素敵な先生方いっぱいいます!

## 園児たちの笑顔を見ると、 つい私まで嬉しくなります

子どもたちの日々の成長を間近で感じられることが教員の魅力だと感じています。幼稚園は、小さな「できた!」がたくさんある場所となっています。子どもたちは、日々の遊びの中で、様々なことができるようになったり、新しい発見に気付いたりすると、とても嬉しそうな顔をしてくれます。そして、私自身も子どもたちの嬉しそうな顔を見ると、つい一緒になって喜んでしまいます。幼稚園教諭は、そんな素敵な職業です。子どもたちが「できた!」と達成感を積み重ねて成長していくように、私自身も、子どもたちがより楽しく過ごせるよう、これからも学び続ける姿勢を忘れずに成長していきたいです。「子どもたちの可愛い笑顔をもっと見たい!」という思いが、私の原動力となっています。

大阪市幼稚園教諭  
教育学部 教育学科  
幼児教育保育コース<sup>※1</sup> 卒業  
渡邊 奈那美さん



## 「できた」を児童たちと 分かち合えるのが教員の醍醐味

特別支援学校教諭の一番の魅力は、子どもたちの成長に深く関わることです。子どもたちにとっては、学校生活のすべてが自立活動の場です。子どもたちが日々成長していく過程を間近で見ることができ、私自身の強いやりがいとなっています。また、特別支援学校教諭として働く上では、子どもたちの笑顔を見るために、常に「この子はどんな子?」を意識して過ごしています。一人ひとりと真っ直ぐ向き合うことが、子どもたちにとっての「嬉しい」「楽しい」になり、毎日子どもたちから元気を貰いながら、新鮮で明るい学校生活を満喫しています。

毎日笑いが絶えない学校生活に喜びを感じています

大阪府特別支援学校教諭  
教育学部 教育学科  
小学校教育コース<sup>※1</sup> 卒業  
藤田 一花さん

